



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月3日

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門管掌 (氏名) 中川 智

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,765	1.1	965	56.9	989	54.6	682	60.0
2019年3月期第3四半期	8,674	△18.6	615	△7.8	640	△7.9	426	△8.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	212.23	211.17
2019年3月期第3四半期	133.09	132.14

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	20,120	12,985	64.4	4,027.40
2019年3月期	20,437	12,463	60.9	3,874.09

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,966百万円 2019年3月期 12,442百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△0.3	1,000	27.0	1,030	25.6	700	24.9	217.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,229,400 株	2019年3月期	3,221,600 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,796 株	2019年3月期	9,756 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	3,216,488 株	2019年3月期3Q	3,206,722 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
3. 補足情報 .....	7
(1) 受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出低迷の底打ち感が見られる一方、設備投資の減速や消費の回復力が弱く低成長が継続する見通しであります。

世界経済については、徐々に底入れを見込んでおりますが米中の貿易摩擦の影響や中東の地政学的リスク等を受けて弱含みが続く模様であります。

外航海運・造船業界では、昨年春から夏にかけて急上昇傾向にあった鉄鉱石を中心とした原料バラ積船の備船料の上昇が止まり、秋以降は下落基調に転じております。当社の主要マーケットである内航海運業界におきましては、大阪・関西万博への期待感、各種インフラ整備事業、自然災害の復興事業等に対応し好環境が継続しておりますが、一方、人件費高騰や船員不足などにより、造船投資には引き続き力強さが見られません。当社が主力とする499G/T型貨物船に関してはリプレース船についての建造意欲はあるものの、2016年度から始まった「代替建造制度（暫定措置事業）」の終焉時期を迎え、新造船の判断が困難な状況にあると見られます。また、タンカー業界においても同様に、小型ケミカル船やLPG船の代替建造が見込まれておりますが、石油需要の減少等に伴う輸送量の減少予想が消えず、実需にはまだ時間がかかりそうです。海外案件につきましては、米中貿易摩擦の問題も加わり、韓国・中国の動きが減速しております。一方、東南アジア地区を中心にケミカルタンカーや漁船の代替建造案件が見えつつあり、将来の実需につながるものと期待しております。

このような企業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、引き続き主機関の先物受注量の減少が尾を引き、前年同期比15.1%減の7,185百万円となりました。売上高は、微減の主機関を部分品がカバーし、同1.1%増の8,765百万円となりました。受注残高は、主機関の受注高減少が影響し同24.4%減の3,246百万円となりました。

損益面につきましては、上期の大部部品交換工事の特需等に支えられ、営業利益は965百万円（前年同期比56.9%増）、経常利益は989百万円（同54.6%増）となり、四半期純利益は682百万円（同60.0%増）となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は輸出が増加しましたが国内販売の減少をカバーできず、4,878百万円（前年同期比2.2%減）となりました。部分品・修理工事は微増の国内販売に加えて輸出が増加し3,887百万円（同5.5%増）となりました。厳しい環境のなか当面の利益は確保できそうではありますが、主機関の先物受注の減少傾向と価格改善の停滞の状況は依然として好転せず、今後はさらに厳しい状況に向かうと見ております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は11,059百万円となり、前事業年度末に比べ157百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が441百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が476百万円、たな卸資産が80百万円減少したことによるものであります。固定資産は9,060百万円となり、前事業年度末に比べ159百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が113百万円、投資その他の資産が54百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は20,120百万円となり、前事業年度末に比べ316百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,216百万円となり、前事業年度末に比べ863百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が144百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が648百万円、前受金が98百万円、賞与引当金が82百万円、その他に含まれる未払金が131百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,918百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれるリース債務が15百万円減少したものの、退職給付引当金が49百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,135百万円となり、前事業年度末に比べ838百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は12,985百万円となり、前事業年度末に比べ521百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が21百万円減少したものの、利益剰余金が538百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.4%（前事業年度末は60.9%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月5日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,045,266	5,487,084
受取手形及び売掛金	3,610,527	3,133,947
製品	526,274	547,085
仕掛品	1,026,433	919,113
原材料及び貯蔵品	930,463	936,059
その他	85,775	44,682
貸倒引当金	△7,400	△8,400
流動資産合計	11,217,340	11,059,572
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,171,220	1,123,710
構築物(純額)	161,221	150,947
機械及び装置(純額)	367,417	329,508
車両運搬具(純額)	11,421	11,228
工具、器具及び備品(純額)	201,806	176,420
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	5,919	13,476
有形固定資産合計	7,736,877	7,623,164
無形固定資産	20,079	29,125
投資その他の資産		
投資有価証券	829,032	799,949
その他	686,317	638,965
貸倒引当金	△52,300	△30,300
投資その他の資産合計	1,463,050	1,408,614
固定資産合計	9,220,007	9,060,904
資産合計	20,437,347	20,120,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,061,092	2,412,984
未払法人税等	67,364	211,783
前受金	813,765	714,809
賞与引当金	191,000	108,300
製品保証引当金	14,700	79,400
受注損失引当金	91,400	57,800
訴訟損失引当金	6,400	—
その他	834,144	631,701
流動負債合計	5,079,866	4,216,778

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>固定負債</b>		
再評価に係る繰延税金負債	1,473,294	1,473,294
退職給付引当金	1,141,011	1,190,334
その他	279,730	254,783
<b>固定負債合計</b>	<b>2,894,036</b>	<b>2,918,412</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,973,903</b>	<b>7,135,191</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	809,175	812,843
資本剰余金	51,000	54,669
利益剰余金	7,994,571	8,532,686
自己株式	△12,800	△12,880
<b>株主資本合計</b>	<b>8,841,946</b>	<b>9,387,318</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	256,471	234,759
土地再評価差額金	3,344,541	3,344,541
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>3,601,013</b>	<b>3,579,301</b>
新株予約権	20,484	18,666
<b>純資産合計</b>	<b>12,463,444</b>	<b>12,985,286</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>20,437,347</b>	<b>20,120,477</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,674,046	8,765,956
売上原価	6,256,136	6,063,692
売上総利益	2,417,909	2,702,263
販売費及び一般管理費	1,802,463	1,736,357
営業利益	615,445	965,905
営業外収益		
受取利息	891	871
受取配当金	10,359	8,517
受取保険金	7,882	—
訴訟損失引当金戻入額	—	6,400
その他	9,524	10,991
営業外収益合計	28,657	26,780
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	1,684	943
賃貸費用	1,190	1,457
その他	924	626
営業外費用合計	3,810	3,037
経常利益	640,293	989,648
特別損失		
固定資産処分損	1,519	—
特別損失合計	1,519	—
税引前四半期純利益	638,773	989,648
法人税等	212,000	307,000
四半期純利益	426,773	682,648

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。



## 3. 補足情報

## (1) 受注及び販売の状況

## (i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔 2018. 4. 1 から 2018. 12. 31 まで 〕	〔 2019. 4. 1 から 2019. 12. 31 まで 〕	〔 2018. 4. 1 から 2019. 3. 31 まで 〕
受 注 高	主 機 関	4,775 (56.4%)	3,297 (45.9%)	7,418 (60.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	3,685 (43.6%)	3,887 (54.1%)	4,938 (40.0%)
	合 計	8,461 (100.0%)	7,185 (100.0%)	12,357 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	4,292 (100.0%)	3,246 (100.0%)	4,827 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	4,292 (100.0%)	3,246 (100.0%)	4,827 (100.0%)

## (ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔 2018. 4. 1 から 2018. 12. 31 まで 〕	〔 2019. 4. 1 から 2019. 12. 31 まで 〕	〔 2018. 4. 1 から 2019. 3. 31 まで 〕
主 機 関		4,988 (57.5%)	4,878 (55.6%)	7,097 (59.0%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		3,685 (42.5%)	3,887 (44.4%)	4,938 (41.0%)
合 計		8,674 (100.0%)	8,765 (100.0%)	12,036 (100.0%)
(うち輸出分)		(2,070) (23.9%)	(2,473) (28.2%)	(2,888) (24.0%)